

# 京都芸術大学 大学院

芸術研究科（通信教育）芸術専攻 修士課程

## 学生募集要項 2023（2023年4月入学生）

| 出願期間                             | 合格発表日        |
|----------------------------------|--------------|
| 2023年1月23日(月)～2月21日(火)<br>(消印有効) | 2023年3月8日(水) |

### 出願を検討中の皆様へー入学説明会への参加をおすすめしますー

研究対象・分野と教員の指導におけるミスマッチを防ぐためにも、出願前に領域・分野別説明会に参加いただくことをおすすめしています。説明会に参加できない方に向けては、アーカイブ動画の配信も行います。日程・申し込み方法等の詳細は本学通信制大学院Webサイトで確認してください。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/>



通信制大学院  
Webサイト

# 芸術研究科（通信教育） 芸術専攻 修士課程

KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS GRADUATE SCHOOL index

2023年度 学生募集要項

|                    |    |
|--------------------|----|
| アドミッション・ポリシー ..... | 2  |
| 募集概要 .....         | 2  |
| 1 名称               |    |
| 2 授与される学位          |    |
| 3 募集定員             |    |
| 4 出願期間             |    |
| 5 修業年限・在籍年限        |    |
| 6 出願資格             |    |
| 出願方法 .....         | 6  |
| 1 出願の流れ            |    |
| 2 出願手続             |    |
| 3 出願に関する諸注意        |    |
| 4 合格発表日・入学手続金納付締切日 |    |
| 学費 .....           | 13 |
| 1 必要な費用            |    |
| 2 奨学金・助成金制度        |    |
| 学習環境・修了要件 .....    | 16 |
| 1 パソコン・アプリケーションソフト |    |
| 2 学習形態             |    |
| 3 修了要件             |    |
| 学習方法・履修モデル .....   | 25 |
| 1 学際デザイン研究領域       |    |
| 2 コミュニケーションデザイン領域  |    |
| 3 文芸領域             |    |
| 4 芸術学・文化遺産領域       |    |
| 5 写真・映像領域          |    |
| 6 美術・工芸領域          |    |
| Q&A .....          | 31 |
| 1 入学全般             |    |
| 2 学習方法             |    |
| 3 学費               |    |
| 4 学生生活             |    |
| アクセス .....         | 34 |
| 京都瓜生山キャンパス         |    |

# アドミッション・ポリシー

修士課程（通信教育）では、さまざまな職業、経験を持ちながら、本学で芸術に関わる専門性を深め、社会で活動してゆく意欲を持った方の入学を期待しています。そのため入学者の選考にあたっては特に以下の点を重視します。

- ・ 自他を尊重しつつ意見を交わしながら制作研究を続けられること。
- ・ 芸術に関し修了研究・修了制作を遂行するのに必要な専門的な能力を身につけていること。
- ・ 修士課程（通信教育）の教育目標や授業形態を十分に理解していること。

## 募集概要

### 1 名称

京都芸術大学大学院  
芸術研究科（通信教育）芸術専攻 修士課程

### 2 授与される学位

「修士（芸術）」(MFA)、または「修士（学術）」(MA)※

※修士（学術）の学位は研究内容が芸術文化、比較文化、歴史文化の学際的分野であると本大学院が認めた場合に限りです。

### 3 募集定員

| 領域            | 分野                       | 募集定員 |
|---------------|--------------------------|------|
| 学際デザイン研究      | —                        | 450名 |
| コミュニケーションデザイン | グラフィックデザイン、映像デザイン、空間デザイン |      |
| 文芸            | —                        |      |
| 芸術学・文化遺産      | 芸術学、文化遺産                 |      |
| 写真・映像         | —                        |      |
| 美術・工芸         | 日本画、洋画、工芸デザイン            |      |

## 4 出願期間

募集は4月入学のみです。入学日は2023年4月1日です。

出願手続サイトは本学通信制大学院Webサイト (<https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/>) から2023年1月23日(月) 10:00～2月21日(火) 17:00にアクセスできます。

| 出願期間                             | 合格発表日        | 入学手続金納付締切日    |
|----------------------------------|--------------|---------------|
| 2023年1月23日(月)～2月21日(火)<br>[消印有効] | 2023年3月8日(水) | 2023年3月15日(水) |

### 入学選考

出願書類と指定提出物で総合的に判断します（指定提出物は領域によって異なります）。

詳しくは6～12ページで確認してください。

## 5 修業年限・在籍年限

| 修業年限 | 在籍年限 |
|------|------|
| 2年   | 4年   |

●修業年限は、修了までに必要とする最短年数です。

●在籍年限は、本課程に在籍できる最長年数です。

●休学は入学2年目以降で在籍年限内に通算2年間まで認められます。休学期間は修業年限には含まれませんが、在籍年限には含まれます。休学料は1年間20,000円（2022年度実績）です。

## 6 出願資格

次のいずれかに該当する方（一定以上の経験者が入学対象です）。

1 日本の大学を卒業した者（2023年3月卒業見込の者を含む）

2 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者  
（2023年3月までに授与見込の者を含む）

3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者で、学士の学位を授与された者  
（2023年3月までに授与見込の者を含む）※日本語での修学能力のある者

4 日本の4年制専修学校専門課程（専門学校）で高度専門士の称号を取得した者  
（2023年3月までに取得見込の者を含む）

5 文部科学大臣の指定した者

6 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認める者で2023年3月31日までに22歳に達する者  
※本大学院（通信教育）が実施する「入学資格審査」に合格することが必要です。（4ページ「出願資格に該当しない方」参照）

## 出願資格に該当しない方

入学時に22歳に達する方で、以下の条件に該当する方は、本大学院（通信教育）が実施する「入学資格審査」に合格することで、出願資格を得ることができます。本資格審査は、本大学院（通信教育）のみの基準であり、他大学大学院（本学の通学課程の大学院を含む）の受験資格を保証するものではありません。本資格審査を希望される方は、本学通信制大学院Webサイト（<https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/>）の「入学選考・学費」ページを確認してください。

- 大学で3年以上修学した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方
- 外国において学校教育における15年の課程を修了した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方
- その他、大学を卒業した方と同等以上の学力があると本大学院が認めた方

## 二重学籍

大学院（修士課程）に入学する場合、専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校の方は在籍中であっても入学できますが、学校教育法に定められた他の大学、短期大学、大学院、高等専門学校に在籍されている方は、二重学籍となるため、入学できません。

## 退学見込者は退学日付に注意してください

学校教育法に定められた他の大学、短期大学、大学院、高等専門学校に在籍中で、中途退学を予定されている場合、退学日付が2023年4月1日以降になると二重学籍となるため、入学できません。

## 海外居住者の入学条件

海外居住者の方も入学可能です。ただし、以下の点に注意してください。

- 本学からの全ての送付物（郵便・宅配便等）の宛先は、日本国内の連絡先（中継先）となります。出願は日本国内での確実な連絡先（中継先）を確保できる方に限ります。
- 出願資格証明書等の出願書類は原本の提出が必要です。早めに取り寄せて提出期限（日本時間2023年2月21日）に間に合うよう提出してください。
- Zoomを使用するリアルタイム授業は日本時間での開催です。
- 授業で使用するテキストや参考文献は日本の書籍となるため、Webで閲覧できるものに加え、ご自身で海外発送対応の書籍通販サイトを利用するか、代理の方に手配を依頼していただく必要が発生する可能性があります。
- 授業で使用する教材・画材はご自身で準備いただく必要があります。日本画の膠、岩絵具等は入手が難しい場合がありますので、入学前に入手可能かご確認ください。
- 対面スクーリング（オプション科目）は日本国内で受ける必要があります。

## 外国籍の方の入学条件

日本以外の国籍の方も入学可能です。ただし、以下の点に注意してください。

- ① 日本語能力  
授業と事務連絡はすべて日本語で行うため、支障のない日本語能力が必要です。
- ② 留学ビザ  
本大学院（通信教育）在籍を理由とする留学ビザの取得はできません。
- ③ 出願時に必要な書類等
  - ・パスポートのコピー（写真のあるページ）の提出が必要です。パスポートをお持ちでない場合、国籍を確認できる公的書類を提出してください。
  - ・日本在住の場合は在留資格を証明する資料（在留カード・特別永住者証明書の両面のコピー）も提出してください（9ページ「提出書類 パスポートのコピーと在留資格証明書」を参照）。

## 疾患や障がいのある方の修学

該当する方は、出願締切の1ヶ月前までに通信教育課程入学課にご相談ください。必要に応じて事前面談を行います。なお、ご連絡がない場合も出願時の「心身の状況」の内容に応じて、面談を提案させていただく可能性があります。

なお、通信教育課程の学習上のサポートは主に対面スクーリングを対象にしています。

例)

- ・スクーリング時の介助者の同行許可
- ・スクーリング時の座席配慮
- ・補聴器や音声認識アプリ等、日常的に使用されている機器類の使用許可
- ・配付資料の事前提供（電子版の提供） など

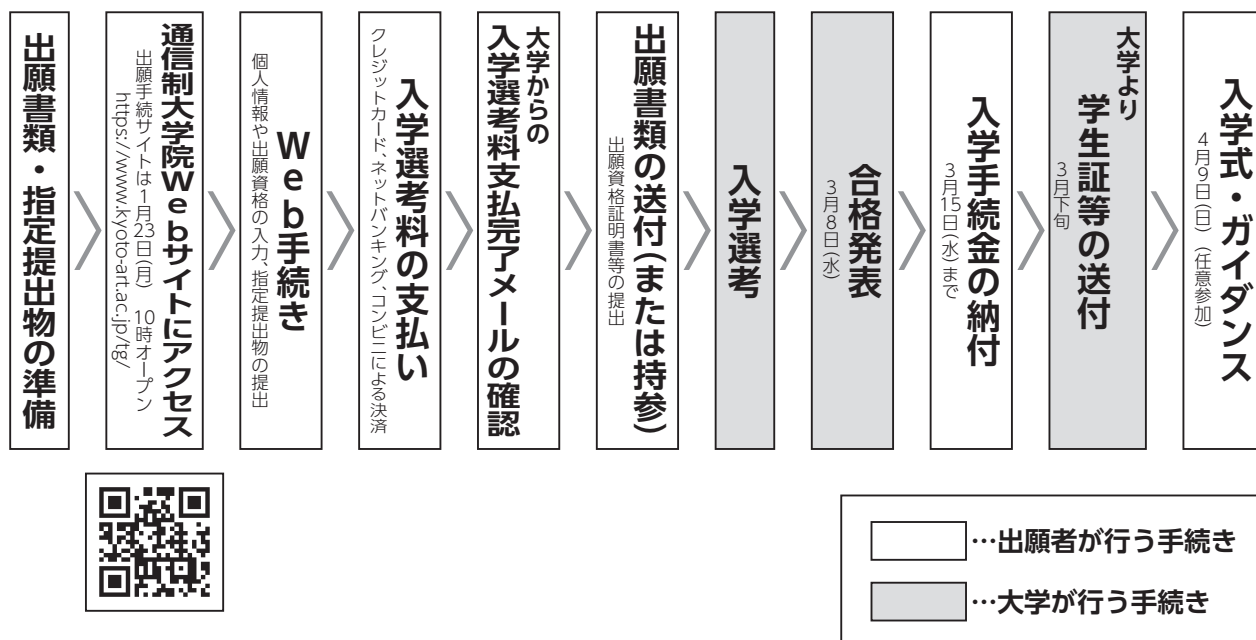
※ご希望に応じて対応を検討させていただきますので、事前にご相談ください。特に、分野によっては実技（技術習得）を伴う科目が修了認定上の必修科目として設定されている場合があります。障がい等の状況により配慮が必要になる場合は、学習方法・配慮方法について、事前にご相談ください。

※京都瓜生山キャンパスは立地の都合上、坂道や階段が多いキャンパスとなっています。場所によっては、バリアフリー整備が十分ではない校舎等もございますので、スクーリングを京都で予定されている方は、事前にご見学・ご相談ください。

【お問い合わせ先】 京都芸術大学 通信教育課程入学課  
フリーダイヤル：0120-20-9141  
E-mail: tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

# 出願方法

## 1 出願の流れ



## 2 出願手続

本学通信制大学院Webサイト (<https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/>) の「入学選考・学費」ページから出願手続サイトにアクセスし、出願領域・分野選択後、画面上の注意事項・誓約内容を確認・同意のうえで、「出願手続きに進む」をクリックしWeb手続きをしてください。出願ステップの完了後に「出願書類 (7～9ページ参照)」の送付が必要です。必要書類はあらかじめ取り寄せて準備してください。

### 出願書類と指定提出物による書類審査

出願書類と指定提出物 (経歴書、論文、ポートフォリオ等) をもとに、これまでの研究・制作活動内容、および研究計画内容等から、総合的に判断します。

各領域ごとに指定提出物が異なりますので、詳細は9～11ページを参照してください。

### 1. 出願のステップ

#### Step 1 個人情報の入力

入学志願書にあたるものです。志望領域・分野の選択をはじめ、正確に入力してください。

※顔写真データの添付が必要です。あらかじめ用意してください (9ページ「指定提出物 顔写真データ」参照)

※ご自身で設定されたパスワードは以降もairUシステムで使いますので、必ず控えてください。

#### Step 2 出願資格の入力

出願資格により入学形態が異なりますので、3ページでご自身の出願資格を確認のうえ、入力してください。

#### Step 3 アンケートの入力

#### Step 4 入力内容確認

入力内容を確認します。変更する場合は「入力内容を変更する」ボタンを押して該当項目を修正してください。

### Step 5 Web手続き完了

出願番号が表示されます。あわせて、ご登録のメールアドレスに出願の受付内容と以降の手続き内容・方法をお送りしますので、確認のうえ引き続きお手続きください。

※本メール「Web出願を受け付けました〔airU〕」には、ご自身の出願番号、学習用Webサイト「airUマイページ」のログインID、ログインURLが記載されています。入学後も必要な情報ですので、削除せず保存してください。

### Step 6 選考資料提出

指定提出物は、このステップで入力または添付で提出してください。あらかじめ内容を作成のうえ、ステップへ進んでください。顔写真はStep1で添付したものと同一データをここでも添付してください（9ページ「指定提出物 顔写真データ」参照）。また、PC操作等にかかわるスキルチェックも行います。

### Step 7 選考料の支払い

「ご請求金額」を確認し、お手続きください。お支払い方法はクレジットカード決済、ネットバンキング（銀行ネット）決済、コンビニ決済からの選択です。

※コンビニ決済の場合、支払期限（10日間）が出願期間を超える場合でも、必ず出願期間内にコンビニの端末・レジでの支払いを完了してください。出願期間後に入金されても受け付けられません。

### Step 8 提出書類について

出願に必要な書類と締切日を確認します。画面に表示された提出書類が揃っていることを確認し、出願期間内に郵送（簡易書留速達）または窓口持参にて提出してください。

※書類到着確認のお問い合わせは原則として受け付けできません。ご自身で追跡番号等により確認してください。

## 2. 出願書類（郵送提出分）

以下の提出物は出願ステップの完了後に郵送で提出が必要です。ご出身校等からの取り寄せが必要なため、Web手続きをする前にあらかじめ準備してください。

### 提出方法

#### ●国内在住者

市販の封筒に、印刷した「封筒貼付用宛名シート（35ページ）」を貼付し、必要書類を同封して郵便局窓口から簡易書留速達で郵送、または宅配便などの追跡ができる配送方法で送付してください。

#### ●海外在住者

市販の封筒に必要書類を同封し、「大学院入試出願書類在中」と表書きして、国際宅配便（EMS、DHL、UPS、FedEx等）で発送してください。「封筒貼付用宛名シート（35ページ）」は記入のうえ同封してください。

### 提出先

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都芸術大学 大学院（通信教育）願書受付係

窓口受付期間：9：00～17：00（月～土） 窓口休止期間：日曜および祝日

### Address

Kyoto University of The Arts Correspondence Education Office 2-116, Uryuyama,  
Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8271, JAPAN



## 提出書類

### (1) (2)は全員提出

#### (1) 出願資格証明書

下表をご確認のうえ、該当する出願資格証明書（原則発行6ヶ月以内のもの。コピー不可、厳封は不要）を取り寄せ、提出してください。

| 出願資格（3ページ参照）                                                                                                                                                                                                                              | 必要な証明書（すべて提出）                                                                                                                                    | 備考                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大学を卒業した方                                                                                                                                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●成績証明書<br/>(見込の場合は単位修得見込証明書)</li> <li>●卒業証明書<br/>(見込の場合は卒業・修了・学位取得見込証明書)</li> </ul>                       | <p>大学院を修了された方も、大学（学部）の成績証明書・卒業証明書を提出してください。</p> <p>卒業証書や合格証書では受理できません。</p> <p>※卒業・修了・学位取得見込で出願した方は、卒業・修了・取得が確定次第、卒業・修了・学位取得証明書と成績証明書を提出してください（締切日：2023年4月6日（木）【必着】）。ただし、成績証明書に卒業年月が記載されている場合は成績証明書のみで構いません。</p> <p>〔本学通信教育部卒業（見込）の方〕</p> <p>卒業生の方：「成績証明書」を提出してください。同書が卒業の証明も兼ねています。</p> <p>卒業見込の方：「成績証明書〈卒業見込証明書含む〉」を提出してください。また、卒業確定後の成績証明書、卒業証明書の再提出は必要ありません。</p> |
| 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方                                                                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学位授与証明書<br/>(見込の場合は、学位授与申請受理証明書)</li> <li>●学位授与機構への申請時に提出したものと同一単位修得証明書<br/>(合算申請の場合はすべて)</li> </ul>     | 大学校等の教育施設の卒業証明書では受け付けできません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 外国において学校教育における16年の課程を修了した方                                                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●成績証明書</li> <li>●卒業証明書または学位取得証明書</li> </ul> <p>※学士の学位取得が確認できる学部の証明書が必要です。</p>                             | <p>日本文または英文に限ります。それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類（公正証書）、の2つを添付してください。</p> <p>※別途資料の提出を求める場合があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 高度専門士の称号を取得した方                                                                                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●高度専門士称号授与書のコピー（見込の方は後日提出）</li> <li>●高度専門士の称号を取得した専門学校の成績証明書</li> <li>●高度専門士の称号を取得した専門学校の卒業証明書</li> </ul> | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>以下の条件に該当する方で、入学時に22歳に達する方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大学で3年以上修学した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方</li> <li>●外国において学校教育における15年の課程を修了した方で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本大学院が認めた方</li> <li>●その他、大学を卒業した方と同等以上の学力があると本大学院が認めた方</li> </ul> | (別途定める)                                                                                                                                          | <p>当該出願資格で出願される方は、別途、入学資格審査を行います。本学通信制大学院Webサイト（<a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/">https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/</a>）の「入学選考・学費」ページで「入学資格審査要項」の詳細を確認してください。</p>                                                                                                                                                                                             |

※各証明書は正本であること。PDF形式を含む電子版証明書を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ原本と認めます。特別な事情がある場合は申し出てください。

※証書が原本のみ1通しか発行されない場合（卒業証明書・「学士」学位証明書・成績証明書を含む）は以下の①または②の方法をとってください。

①公証役場で公証した証明書を提出する

②卒業証書の発行機関で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したものを提出する

#### (2) 封筒貼付用宛名シート

35ページの書式を印刷し、必要事項を記入して市販の封筒（角2サイズ推奨）に貼付してください。

**(3) (4)は該当する方のみ提出****(3)戸籍抄本等**

「出願資格証明書（8ページ参照）」に記載されている氏名が現在の氏名と異なる場合は、それぞれが一致することを確認できる以下の公的な書類をいずれか提出してください。

●戸籍抄本（コピー可、**原則発行6ヶ月以内**）

●【外国籍の方】在留カード（両面コピー）

何らかの理由で戸籍抄本の取得ができない場合は事前にご相談のうえ、以下の証明書でも可とします。ただし、現在の氏名（戸籍上の氏名）と入学資格証明書に記載されている氏名の両方が記載されている証明書に限ります。

●マイナンバーカード（両面コピー）

●運転免許証（両面コピー、氏名変更が確認できること）

●パスポート（氏名と顔写真が掲載されているページのコピー）

●年金手帳（個人番号、現在の氏名、変更の氏名が掲載されているページのコピー）

●国家資格証明（免許）証（裏面の記載がある場合は両面コピー）

※複数回にわたって氏名の変更があり、証明書の氏名がそれぞれ異なっている場合は、その履歴がわかる証明書（コピー可）をあわせて提出してください。

なお、戸籍抄本等は氏名変更の確認のみに使用します。返却は行いません。

**(4)パスポートのコピーと在留資格証明書**

外国籍の方は、パスポートのコピー（写真のあるページ）を提出してください。パスポートをお持ちでない場合、国籍を確認できる公的書類を提出してください。また、日本在住の場合、在留資格を証明する資料（在留カード・特別永住者証明書の両面のコピー）も提出してください。なお、本大学院（通信教育）に在籍することを理由とする留学ビザの取得はできません。

**3. 指定提出物（Web提出分）**

以下の提出物はすべてWeb手続きの過程で提出するものです。提出用フォーマット等は出願時に出願手続サイトにて詳細をご確認ください。

**(1) (2)は全員必須****(1)PC操作等にかかわるスキルチェック**

インターネット環境やPCの基本的な操作に関する内容および本学で学習するうえでご留意いただきたい内容についての確認をチェックボックス形式でお伺いいたします。

**(2)顔写真データ**

学生証および学生原簿、経歴書に使用します。

5MB以下のGIF形式、JPG形式、PNG形式の画像ファイル

縦354px×横295px 推奨

※上半身脱帽で、背景は無地。3ヶ月以内の撮影であるもの。

※出願のステップで顔写真データを2回提出していただく必要があります（6～7ページ「Step1、6」参照）。

※iPhoneやAndroidで撮った写真はHEIC、HEIF形式の場合があります。JPG、PNG、GIF形式に変換してください。

**(3)～(8)は該当する領域の内容を提出****(3)学際デザイン研究領域**

- 経歴書（高等学校以降の経歴すべて）
- 志望理由（400字程度、本大学院を選んだ理由）
- 研究計画（800字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
- これまでの代表的な研究業績（著書、論文、レポート、作品）または活動実績の概要（1,200字程度）  
代表的な研究業績がない場合は、これまでの活動、研究の内容がわかる資料をPDFで参考資料として提出のうえ、それらと大学院で計画している研究内容との関係性を「これまでの代表的な研究業績」として1,200字程度で記してください。
- 上記の業績にかかわる参考資料（図版等のPDF1点、20MB以内、圧縮ファイルは不可）

#### (4) コミュニケーションデザイン領域

- 経歴書（高等学校以降の経歴すべて）
- 志望理由（800字程度、本大学院を選んだ理由）
- 研究計画（1,200字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
- ポートフォリオ（作品資料集）

これまでの代表的な活動記録や作品の情報・画像をPDFのポートフォリオファイルとしてまとめたものを1点。

ファイルサイズは全体で20MB以内に収まるようにしてください。圧縮ファイルは不可。

映像や音声の作品を提出したい場合は、作品を任意の公開（あるいは限定公開）サーバに保存し、ポートフォリオ内の作品情報に保存先URL（限定公開の場合はアクセス方法も）を記してください。

授業では、デザイン、編集などを実践的に行うため、ポートフォリオ内に必ず、ご自身が操作できるデザインソフト名・編集ソフト名（Adobe Illustrator、Photoshop、Premiere Pro、SketchUpなど）をすべて明記してください。

#### (5) 文芸領域

- 経歴書（高等学校以降の経歴すべて）
- 志望理由（400字程度、本大学院を選んだ理由）
- 研究計画（1,200字程度）

文芸創作、編集制作、文芸研究等についての計画を記してください。

- ・ 何について、どのような創作および制作・研究を進めようとしているのか
- ・ この大学院でどのようなことを学び、身につけて、修了後、社会で生かしたいか
- ・ 志望する分野やジャンルなどについて

- これまでの代表的な研究業績の概要（1,200字程度）

代表的な業績（作品、卒業制作および論文、著書、その他論文、レポートなど）がない場合は、これまでの活動、研究の内容がわかる資料をPDFで参考資料として提出のうえ、それらと大学院で計画している研究内容との関係性を記してください。

- 上記の業績にかかわる参考資料（図版等のPDF1点、20MB以内、圧縮ファイルは不可）

#### (6) 芸術学・文化遺産領域

- 経歴書（高等学校以降の経歴すべて）
- 志望理由（800字程度、本大学院を選んだ理由）
- 研究計画（1,200字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
- これまでの代表的な研究業績（著書、論文、レポート、作品）の概要（1,200字程度）

代表的な研究業績がない場合は、これまでの活動、研究の内容がわかる資料をPDFで参考資料として提出のうえ、それらと大学院で計画している研究内容との関係性を「これまでの代表的な研究業績」として1,200字程度で記してください。

- 上記の業績にかかわる参考資料（図版等のPDF1点、20MB以内、圧縮ファイルは不可）

#### (7) 写真・映像領域

- 経歴書（高等学校以降の経歴すべて）
- 志望理由（800字程度、本大学院を選んだ理由）
- 研究計画（1,200字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）
- ポートフォリオ（作品資料集）

これまでの代表的な活動記録や作品の情報・画像をPDFのポートフォリオファイルとしてまとめたものを1点。

ファイルサイズは全体で20MB以内に収まるようにしてください。圧縮ファイルは不可。

映像や音声の作品を提出したい場合は、作品を任意の公開（あるいは限定公開）サーバに保存し、ポートフォリオ内の作品情報に保存先URL（限定公開の場合はアクセス方法も）を記してください。

#### (8) 美術・工芸領域

- 経歴書（高等学校以降の経歴すべて）
- 志望理由（400字程度、本大学院を選んだ理由）
- 研究計画（800字程度、何について、どのような研究を進めようとしているのか）

●分野別に以下を提出

日本画分野、洋画分野

これまでの代表的な活動記録や作品の情報をまとめたポートフォリオファイル1点。PDFにして提出。ポートフォリオ内の作品数は少なくとも5点以上（8点以上が望ましい）とする。作品画像には作品タイトル、制作年、作品のサイズ、素材を明記すること。（PDF1点、20MB以内で提出。圧縮ファイルは不可）

工芸デザイン分野（1または2のいずれかを選択）

- 1、個人の作品制作および共同作品・活動（担当内容と成果物を明示すること）をまとめた活動記録1点。PDFにして提出。作品画像には作品タイトル、制作年、作品のサイズ、素材を明記すること。
- 2、これまでの代表的な研究業績（作品または著書、論文、レポート）の概要（1,200字程度）。業績にかかわる参考資料とともにテキスト入力しPDFにして提出。  
（1、2ともにPDF1点、20MB以内で提出。圧縮ファイルは不可）

### 3 出願に関する諸注意

#### 窓口での出願書類の提出

大学院（通信教育）願書受付窓口（京都瓜生山キャンパス 人間館中2階）で出願資格証明書等を提出することもできます。なお、入学選考料は窓口では納付できませんので、あらかじめ支払い手続きを済ませて必要書類を持参してください。

窓口受付時間：9：00～17：00（月～土）

窓口休止日：日曜日および祝日

#### 書類不備

出願書類の記入ミスや必要書類の未提出等の不備がある場合は、入学不許可になることがありますので注意してください。

#### 旧字体等

お名前、ご住所に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただく場合があります（例：吉→吉など）。また、使用する文字フォントのバージョンは「JIS2004（JIS X0213：2004）」に統一しています。これにより、一部字体が変更される場合があります（辻→辻、芦→芦など）。

#### 氏名の通称

氏名は戸籍上のものに限りです。通称は認めません。在留資格「永住」の方はこの限りではありませんが、通称と出願資格証明書記載の氏名とが一致することを証明する公的な証明書を提出してください。

※障がい等の理由で通称名使用を希望する場合は、出願前に入学課へご相談ください。

#### 出願書類の返却

提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返却いたしません。

#### 出願内容の変更

出願後に領域・分野等を変更することはできません。

#### 住所等の変更

出願書類提出後に住所や電話番号等に変更が生じた場合は、すみやかに大学院（通信教育）願書受付係にメール（question@office.kyoto-art.ac.jp）で連絡してください。大学からの重要な連絡物をお届けできません。

#### 個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。個人情報については、出願手続処理、入学選考、学籍管理、教学運営、個人を特定しない統計資料作成のみに使用します。委託業者において業務を行うことがあります。本学が

明示する用途のみに使用します。

## 入学辞退

入学手続き金（入学金・授業料）納付後、入学を辞退される場合は、「入学辞退届」（大学院（通信教育）願書受付係に請求してください）に必要事項を記入のうえ、2023年3月31日（金）の12：00までに提出してください（郵送・宅配便の場合は当日午前中【必着】指定）。入学金を除く授業料を返還します（返金時の振込手数料はご本人負担です）。なお、上記提出締切以降に提出された場合、理由の如何にかかわらず入学金・授業料は返還できません。

## 入学選考料

入学選考料は、いかなる理由があっても返還しません。

## 受付期間外の書類到着

本学が指定した追加書類以外での、出願受付期間外に届いた書類は受理しません。

## 入学不許可

入学選考に合格し入学手続きを行った方で、2023年3月31日（金）までに出席資格の要件を満たさなかった場合は入学許可を取り下げて入学不許可とし、入学金を除く授業料を返還します（返金時の振込手数料はご本人負担です）。

## 書類到着に関するお問い合わせ

書類到着確認のお問い合わせは原則として受け付けできません。ご自身で追跡番号等により確認してください。

## 入学選考に関するお問い合わせ

選考結果の内容についてのお問い合わせには回答できません。

# 4 合格発表日・入学手続き金納付締切日

合格者には、合格通知メールにて入学手続き方法を案内します。納付締切日までに入学手続き金を納付してください。

入学手続き金納付締切日は厳守してください。締切日までに納付がなかった場合は、入学の意志がないものと判断し入学辞退として取り扱います。

| 合格発表日        | 入学手続き金納付締切日（厳守） |
|--------------|-----------------|
| 2023年3月8日（水） | 2023年3月15日（水）   |

※合否結果通知は、合格発表日当日に大学よりメールで通知します。また、本学通信制大学院Webサイト（<https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/>）でも当日午前10：00より合格者の出願番号（Web出願後、大学より送付する「Web出願を受け付けました [airU]」メールにて案内）を掲載します。



## 1 必要な費用

### 1. 出願時に必要な費用

出願手続きサイト「入学選考料の支払い」の画面にて、クレジットカード決済、ネットバンキング（銀行ネット）決済、コンビニ決済のいずれかを選択し、支払操作を行います。

|       |         |
|-------|---------|
| 入学選考料 | 35,000円 |
|-------|---------|

### 2. 合格後、入学手続き時に納付が必要な費用（入学手続き金）

納付締切日（2023年3月15日）までに入学手続き金を納付してください。

| 入学手続き金    |           | 学際デザイン研究領域、<br>コミュニケーションデザイン領域、<br>写真・映像領域、美術・工芸領域 | 文芸領域、<br>芸術学・文化遺産領域 |
|-----------|-----------|----------------------------------------------------|---------------------|
| 内<br>訳    | 入学金       | 100,000円                                           |                     |
|           | 授業料（初年度分） | 360,000円                                           | 375,000円            |
| 入学手続き金 合計 |           | 460,000円                                           | 475,000円            |

※授業料は改定することがあります。

### 入学金、学生教育研究災害傷害保険料

入学金、学生教育研究災害傷害保険料は、初年度のみ必要な費用です（学生教育研究災害傷害保険料は授業料に含みます）。

### 授業料

授業料には、スクーリング研究制作科目（SR）の受講料、Webスクーリング科目（WS）の電子テキスト代、添削指導料を含みます。

- オプション科目と専攻共通科目「論文研究基礎」は、別途受講料が必要です（14ページ参照）。
- 科目によっては、別途テキスト・参考文献代が必要になる場合があります。

### 勤労学生の所得控除

勤労学生控除とは、納税者が所得税法上の「勤労学生」に当てはまる場合に受けられる所得控除です。独立した生計者で、給与所得が年間130万円以下であること等が条件（他にも条件あり）です。詳しくは勤務先の給与担当部署や、所轄の税務署にお問い合わせください。

入学手続き金の一部免除対象

以下に該当する方は、入学手続き金の一部が免除されます。入学志願書の該当欄に記入のうえ、必要書類（該当者のみ）を提出してください。

| 免除対象                            |                                                                                   | 免除金額          | 提出書類・手続き                                                                                              |
|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 瓜生山学園・併設校の卒業・修了（見込）者          | 本学通信教育部芸術学部または大学院芸術研究科（通信教育）<br>京都芸術大学（通学部）芸術学部または大学院<br>京都芸術短期大学<br>京都芸術大学附属高等学校 | 入学金100,000円免除 | 本学園・併設校以外の学歴を出願資格とされる場合のみ、本学園・併設校の卒業・修了（見込）証明書を別途提出。<br>出願手続サイト「step2 出願資格の入力」にある本学・併設校学歴の項目に必要事項を入力。 |
| ② 瓜生山学園・併設校の卒業・修了（見込）者の子女       | 京都芸術デザイン専門学校（旧校名：京都国際文化専門学校）<br>藤川学園                                              |               | 事前に通信教育課程入学課へ確認事項をご連絡※ <sup>1</sup> 後、本学園の卒業・修了（見込）証明書を提出。                                            |
| ③ 瓜生山学園（通学部）・併設校在学生の保護者または学費支弁者 | 京都芸術大学（通学部）芸術学部または大学院・京都芸術デザイン専門学校・京都芸術大学附属高等学校の在学生および認可保育園子ども芸術大学の保護者または学費支弁者    |               | 事前に通信教育課程入学課へ確認事項をお知らせください※ <sup>1</sup> 。                                                            |

※1 志願者（ご本人）の氏名、住所、電話番号、志望コース、メールアドレスと卒業・修了（見込）者または在学生の氏名、在籍学科、学年、学籍番号を確認します。

3. 入学後に必要な費用

| 費用項目           |                                            | 金額     |          | 備考                                                                                                                                                                                                 |
|----------------|--------------------------------------------|--------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業料<br>（2年目以降） | 学際デザイン研究領域、コミュニケーションデザイン領域、写真・映像領域、美術・工芸領域 | 1年間につき | 360,000円 | ●1年次終了前の3月頃に所定の方法でお支払いいただきます。                                                                                                                                                                      |
|                | 文芸領域、芸術学・文化遺産領域                            | 1年間につき | 375,000円 |                                                                                                                                                                                                    |
| オプション科目<br>受講料 | 講義：京都瓜生山キャンパス<br>大阪サテライトキャンパス<br>その他       | 1単位あたり | 15,000円  | ●オプション科目は、芸術学・文化遺産領域、写真・映像領域、美術・工芸領域の対面スクーリングと専攻共通科目「論文研究基礎」のみです。<br>●専攻共通科目「論文研究基礎」は遠隔開講となり、「講義：京都瓜生山キャンパス、大阪サテライトキャンパス、その他」と同じ金額です。<br>●課題や作品の持込・持帰に宅配便代がかかる場合があります。<br>●受講申込時に所定の方法でお支払いいただきます。 |
|                | 講義：東京外苑キャンパス                               |        | 16,000円  |                                                                                                                                                                                                    |
|                | 演習：京都瓜生山キャンパス<br>大阪サテライトキャンパス<br>その他       |        | 25,000円  |                                                                                                                                                                                                    |
|                | 演習：東京外苑キャンパス                               |        | 28,000円  |                                                                                                                                                                                                    |

※上記は2023年度適用金額です。学費等、諸費用は改定する場合があります。  
※オプション科目を受講する場合、別途材料費、施設使用料、交通費等が必要となる場合があります。  
※オプション科目のため、受講生が一定人数に満たなければ、開講を中止する場合があります。

## 2 奨学金・助成金制度

### 日本学生支援機構奨学金（2022年度入学者実績）

| 奨学金の種類                                                                         | 貸与月額                                                                                           | 貸与期間                                               | 家計基準<br>2021年（1月～12月）の<br>収入金額の上限                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| ①第一種奨学金（無利子貸与）                                                                 | 次の月額から<br>申込者が自由に選択<br>月額50,000円<br>または<br>月額88,000円                                           | 申請年4月より当該課程<br>の標準修業年限が修了す<br>る月まで                 | 299万円                                                               |
| ②第二種奨学金<br>(有利子貸与／利息上限3％／<br>在学中は無利息)                                          | 次の月額の中から<br>申込者が自由に選択<br>月額 50,000円<br>月額 80,000円<br>月額 100,000円<br>月額 130,000円<br>月額 150,000円 | 申請年4月～9月の間で希<br>望する月から、当該課程<br>の標準修業年限が終了す<br>る月まで | 536万円                                                               |
| ③入学時特別増額貸与奨学金<br>(一時金／この奨学金のみの申<br>し込みは受付不可。第一種奨<br>学金、第二種奨学金と併せて<br>申し込む必要あり) | 次の一時金の中から<br>申込者が自由に選択<br>100,000円<br>200,000円<br>300,000円<br>400,000円<br>500,000円             | 入学時のみ                                              | 収入金額が120万円以下の人<br>または<br>日本政策金融公庫の「国の教<br>育ローン」を申請したが、利<br>用できなかった人 |

※①②の併用貸与を希望する場合の家計基準は284万円です。

※申込者の人物・健康・学力・家計について総合的に審査します。申請書類により推薦者を決定します。

※上記の内容は2022年度入学者用のものです。2023年度の奨学金募集の詳細は、入学後にお渡しする書類で確認してくだ  
さい。

### 京都芸術大学通信教育課程学生創作研究助成金（2022年度実績）

優れた創作・研究活動およびそれらの発表普及活動を行う学生（個人およびグループ）の自主的活動に対  
して助成金を支給する制度です。審査のうえ200,000円を上限に支援します。

※販売や営利目的として行う活動、所属する企業・団体、またゼミの活動の直接延長上にある企画や、評価を伴う科目に直  
接関連する活動は対象外です。



## 1 パソコン・アプリケーションソフト

### (1) スキルレベル

文字入力や作成したファイルのアップロード、インターネット閲覧等、基本的なパソコンやWebの操作ができれば問題ありません。文字のコピー&ペースト、作成した文書や資料・画像をPDFに変換（ファイル形式を指定して保存）、Zoom（オンライン会議システム）でのファイル共有もできるとよいですが、学習を進める中で慣れていただければ大丈夫です。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

### (2) 推奨機材

学習を進めるには、インターネットへの接続環境が整ったパソコンが必要です。画面の見やすさ（画面サイズ）や文字入力のしやすさ（キーボードの有無）を考慮してご自身に合った端末を選んでください。カメラ・マイク付きのパソコンを推奨します。基本的には事務作業向けのパソコンで十分です。

### (3) システム要件

| デバイス        | 対象OS                   | ブラウザ                                |
|-------------|------------------------|-------------------------------------|
| Windows PC  | Windows 10、11          | Google Chrome（推奨）<br>Microsoft Edge |
| Mac PC      | Mac OS 10.14 Mojave 以降 | Google Chrome（推奨）<br>Safari         |
| iPhone・iPad | iOS 12 以降              | Google Chrome（推奨）<br>Safari         |
| Android端末   | Android 7 以降           | Google Chrome（推奨）                   |

※ブラウザはいずれも最新版を使用してください。

※ブラウザの設定で、Cookieを有効にする必要があります。Cookieが無効の場合、airUの一部が正常に動作しない場合があります。

※今後のOSやブラウザ、本学システムのバージョンアップに伴い、システム要件も変更となる場合があります。

### (4) アプリケーション

レポート作成にあたってはそれなりの長文を執筆しますので、Word等のテキストエディタが使用できるとよいでしょう。一部の遠隔スクリーニングや学習相談等ではZoom（オンライン会議システム）も使用します。最新のシステム要件についてはZoomのWebサイトをご確認ください。

・Zoom ヘルプセンター>はじめに (<https://support.zoom.us/>)

### (5) インターネット環境

Web利用にあたっては別途通信料がかかります。定額の高速光回線を推奨します。

### (6) システムの言語環境

海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみ利用していただけます。また、ブラウザの設定は日本語に設定する必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定する必要があります。

## 2 学習形態

### (1) スクーリング研究制作科目 (SR)

自宅で個々に研究および制作を主体的に進め、定期的に行われるオンラインのスクーリングに出席し、研究報告や指導を受ける形の科目です。

### (2) スクーリング科目 (S)

オンライン上で教員と対面して授業を受ける科目です。開講日は科目ごとに指定されています。事前課題、事後課題などが課されることがあります。オプション科目では、学外やキャンパスに登校して受講する科目もあります。

### (3) Webスクーリング科目 (WS)

動画教材を中心に学習を進める科目です。自由選択科目の「芸術史講義」各科目がこの形態に該当します。科目は、全15章で構成されており、1章あたり1～5本の動画教材（合計20～30分程度）を視聴し、並行して電子テキストを読んで学習します。各章ごとに設けられた章末テストに解答し、全問正解すると次章に進むことができます。15章終了後、レポート形式の試験を提出し、提出されたレポートに対する教員からの全体講評を動画で視聴することで授業が終了します。すべての動画の視聴とレポート試験の合格によって単位を修得できます。

### (4) airUマイページ

学習用Webサイト「airUマイページ」を設けています。

#### 【airUマイページの機能】

- 「シラバス」（授業概要）の確認※
  - スクーリング研究制作科目（SR）の研究報告や指導
  - 動画教材等の視聴
  - Webスクーリング科目（WS）の履修
  - スクーリング科目（S）の申し込み・キャンセル等
  - 課題の提出
  - 履修状況の確認
  - 各種手続き等
  - 掲示板での学生間の情報交換（学習会、展覧会等）
  - その他の学習および学生生活支援情報
- ※「シラバス」はWeb版のみです。印刷製本版はありません。

### 3 修了要件

各領域毎に指定された必修科目（30単位）をすべて修得することによって修了要件を満たすことができます。

ただし、論文執筆を行う一部の分野（芸術学・文化遺産領域全分野）については入学選考時に論文を執筆するにあたっての基礎的な科目や、芸術史の科目など、基礎的な知識を養うための科目が修了研究着手要件において追加で指定される場合があります。その場合、修了時に修得すべき単位は、規定の30単位に加えて数単位増加します。

| 領域                                                | 専攻共通      | 分野特論      | 演習  | 研究  | 自由選択                                    | 修了要件および<br>修士論文等の内容                                                                             |
|---------------------------------------------------|-----------|-----------|-----|-----|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学際デザイン研究領域                                        | 6単位<br>以上 | 8単位       | 8単位 | 8単位 | 指定なし                                    | 30単位以上<br>(研究科目の成果物の審査<br>および試験に合格)                                                             |
| コミュニケーションデザイン領域<br>(グラフィックデザイン/<br>映像デザイン/空間デザイン) |           |           |     |     |                                         | 30単位以上<br>(修士制作作品および修士<br>論文(制作研究ノート)の<br>審査および試験に合格)                                           |
| 文芸領域                                              |           | 4単位<br>以上 |     |     | 専攻共通/<br>分野特論<br>より2科目<br>(4単位)<br>選択必修 | 30単位以上<br>(小説創作ゼミは修士制作<br>作品および修士論文(制<br>作研究ノート)、編集制作<br>ゼミは研究活動実施報告<br>を伴う修士論文の審査お<br>よび試験に合格) |
| 芸術学・文化遺産領域<br>(芸術学/文化遺産)                          |           |           |     |     |                                         | 30単位以上<br>(修士論文の審査および試<br>験に合格)                                                                 |
| 写真・映像領域                                           |           |           |     |     |                                         | 30単位以上<br>(修士制作作品および修士<br>論文(制作研究ノート)の<br>審査および試験に合格)                                           |
| 美術・工芸領域<br>(日本画/洋画/工芸デザイン)                        |           |           |     |     |                                         | 30単位以上<br>(修士制作作品と修士論文<br>(制作研究ノート)の審査<br>および試験に合格)                                             |

※芸術学・文化遺産領域、写真・映像領域、美術・工芸領域のオプション科目の単位は修了要件には含まれません。

## 科目一覧

「分野特論」「演習」「研究」科目は所属する領域の方のみ履修できます。その他の条件は備考欄を確認してください。

### (1) 学際デザイン研究領域

| 科目群  | 配当年次 | 開講区分 | 科目名         | 単位数 | ●:必修<br>○:選択必修 | 備考            |
|------|------|------|-------------|-----|----------------|---------------|
| 専攻共通 | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅰ    | 2   | ●              |               |
|      | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅱ    | 2   | ●              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅰ     | 各2  | ○              | 6科目から1科目を選択必修 |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅱ     |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅲ     |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅳ     |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅴ     |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅵ     |     | ○              |               |
| 分野特論 | 1    | S    | 学際デザイン特論Ⅰ-1 | 2   | ●              |               |
|      | 1    | S    | 学際デザイン特論Ⅰ-2 | 2   | ●              |               |
|      | 1    | S    | 学際デザイン特論Ⅱ-1 | 2   | ●              |               |
|      | 1    | S    | 学際デザイン特論Ⅱ-2 | 2   | ●              |               |
| 演習   | 1    | SR   | 学際デザイン演習Ⅰ   | 2   | ●              |               |
|      | 1    | SR   | 学際デザイン演習Ⅱ   | 2   | ●              |               |
|      | 1    | SR   | 学際デザイン演習Ⅲ   | 2   | ●              |               |
|      | 1    | SR   | 学際デザイン演習Ⅳ   | 2   | ●              |               |
| 研究   | 2    | SR   | 学際デザイン研究    | 8   | ●              |               |
| 合計   |      |      |             | 30  | 単位             |               |

※オプション科目はありません。

### (2) コミュニケーションデザイン領域

| 科目群  | 配当年次 | 開講区分 | 科目名      | 単位数 | ●:必修<br>○:選択必修 | 備考            |
|------|------|------|----------|-----|----------------|---------------|
| 専攻共通 | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅰ | 2   | ●              |               |
|      | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅱ | 2   | ●              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅰ  | 各2  | ○              | 6科目から1科目を選択必修 |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅱ  |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅲ  |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅳ  |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅴ  |     | ○              |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅵ  |     | ○              |               |

| 科目群  | 配当年次 | 開講区分 | 科目名              | 単位数 | ●:必修<br>○:選択必修 | 備考 |
|------|------|------|------------------|-----|----------------|----|
| 分野特論 | 1    | S    | コミュニケーションデザイン特論Ⅰ | 2   | ●              |    |
|      | 1    | S    | コミュニケーションデザイン特論Ⅱ | 2   | ●              |    |
|      | 1    | S    | コミュニケーションデザイン特論Ⅲ | 2   | ●              |    |
|      | 1    | S    | コミュニケーションデザイン特論Ⅳ | 2   | ●              |    |
| 演習   | 1    | SR   | コミュニケーションデザイン演習  | 8   | ●              |    |
| 研究   | 2    | SR   | コミュニケーションデザイン研究  | 8   | ●              |    |
| 合計   |      |      |                  | 30  | 単位             |    |

※オプション科目はありません。

### (3) 文芸領域

| 科目群                   | 配当年次 | 開講区分 | 科目名      | 単位数 | ●:必修<br>○:選択必修      | 備考            |
|-----------------------|------|------|----------|-----|---------------------|---------------|
| 専攻共通                  | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅰ | 2   | ●                   |               |
|                       | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅱ | 2   | ●                   |               |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅰ  | 各2  | ○                   | 6科目から1科目を選択必修 |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅱ  |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅲ  |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅳ  |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅴ  |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅵ  |     | ○                   |               |
| 分野特論                  | 1    | S    | 文芸特論Ⅰ    | 各2  | ○                   | 6科目から2科目を選択必修 |
|                       | 1    | S    | 文芸特論Ⅱ    |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 文芸特論Ⅲ    |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 文芸特論Ⅳ    |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 文芸特論Ⅴ    |     | ○                   |               |
|                       | 1    | S    | 文芸特論Ⅵ    |     | ○                   |               |
| 演習                    | 1    | SR   | 文芸演習     | 8   | ●                   |               |
| 研究                    | 2    | SR   | 文芸研究     | 8   | ●                   |               |
| 残りの専攻共通／分野特論より2科目選択必修 |      |      |          | 4   | ※1：専攻共通科目は24ページより選択 |               |
| 合計                    |      |      |          | 30  | 単位                  |               |

※オプション科目はありません。

#### (4) 芸術学・文化遺産領域

| 科目群                   | 配当年次 | 開講区分 | 科目名      | 単位数 | ●:必修 ○:選択必修 |      | 備考                             |
|-----------------------|------|------|----------|-----|-------------|------|--------------------------------|
|                       |      |      |          |     | 芸術学         | 文化遺産 |                                |
| 専攻共通                  | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅰ | 2   | ●           | ●    |                                |
|                       | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅱ | 2   | ●           | ●    |                                |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅰ  | 各2  | ○           | ○    | 6科目から1科目を選択必修                  |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅱ  |     | ○           | ○    |                                |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅲ  |     | ○           | ○    |                                |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅳ  |     | ○           | ○    |                                |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅴ  |     | ○           | ○    |                                |
|                       | 1    | S    | 制作行為原論Ⅵ  |     | ○           | ○    |                                |
| 分野特論                  | 1    | S    | 芸術学特論Ⅰ   | 各2  | ○           |      | 4科目から2科目を選択必修<br>(芸術学分野のみ履修可)  |
|                       | 1    | S    | 芸術学特論Ⅱ   |     | ○           |      |                                |
|                       | 1    | S    | 芸術学特論Ⅲ   |     | ○           |      |                                |
|                       | 1    | S    | 芸術学特論Ⅳ   |     | ○           |      |                                |
|                       | 1    | S    | 文化遺産特論Ⅰ  | 各2  |             | ○    | 4科目から2科目を選択必修<br>(文化遺産分野のみ履修可) |
|                       | 1    | S    | 文化遺産特論Ⅱ  |     |             | ○    |                                |
|                       | 1    | S    | 文化遺産特論Ⅲ  |     |             | ○    |                                |
|                       | 1    | S    | 文化遺産特論Ⅳ  |     |             | ○    |                                |
| 演習                    | 1    | SR   | 芸術文化演習   | 8   | ●           | ●    |                                |
| 研究                    | 2    | SR   | 芸術文化研究   | 8   | ●           | ●    |                                |
| 残りの専攻共通／分野特論より2科目選択必修 |      |      |          | 4   |             |      | ※1:専攻共通科目は24ページより選択            |
| 合計                    |      |      |          | 30  | 単位          |      |                                |

|                                            |                |       |           |   |  |  |                 |
|--------------------------------------------|----------------|-------|-----------|---|--|--|-----------------|
| オプション<br>(自由選択)<br>※別途受講料が必要<br>(14ページ参照)。 | 1              | S(対面) | 芸術文化研究指導Ⅰ | 1 |  |  | 芸術学・文化遺産領域のみ履修可 |
|                                            | 1              | S(対面) | 芸術文化研究指導Ⅱ | 1 |  |  | 芸術学・文化遺産領域のみ履修可 |
|                                            | <del>1-2</del> | S(対面) | 芸術文化研究指導Ⅲ | 1 |  |  | 芸術学・文化遺産領域のみ履修可 |
|                                            | 2              | S(対面) | 芸術文化研究指導Ⅳ | 1 |  |  | 芸術学・文化遺産領域のみ履修可 |
|                                            | 2              | S(対面) | 芸術文化研究指導Ⅴ | 1 |  |  | 芸術学・文化遺産領域のみ履修可 |

※オプション科目の単位は修了要件には含まれません。

#### 修了研究着手要件の個別指定について（芸術学・文化遺産領域のみ）

芸術学・文化遺産領域全分野では、出願書類と指定提出物による書類審査によって、論文を執筆するにあたっての基礎的な科目や、芸術史の科目など、基礎的な知識を養うための科目が修了研究着手要件において追加で指定される場合があります。初年度に指定する科目を受講し合格することが、2年目以降に修了研究に着手するための追加要件です。



## (5) 写真・映像領域

| 科目群                               | 配当年次 | 開講区分 | 科目名      | 単位数 | ●:必修<br>○:選択必修      | 備考            |
|-----------------------------------|------|------|----------|-----|---------------------|---------------|
| 専攻共通                              | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅰ | 2   | ●                   |               |
|                                   | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅱ | 2   | ●                   |               |
|                                   | 1    | S    | 制作行為原論Ⅰ  | 各2  | ○                   | 6科目から1科目を選択必修 |
|                                   | 1    | S    | 制作行為原論Ⅱ  |     | ○                   |               |
|                                   | 1    | S    | 制作行為原論Ⅲ  |     | ○                   |               |
|                                   | 1    | S    | 制作行為原論Ⅳ  |     | ○                   |               |
|                                   | 1    | S    | 制作行為原論Ⅴ  |     | ○                   |               |
|                                   | 1    | S    | 制作行為原論Ⅵ  |     | ○                   |               |
| 分野特論                              | 1    | S    | 写真・映像特論Ⅰ | 2   | ●                   |               |
|                                   | 1    | S    | 写真・映像特論Ⅱ | 2   | ●                   |               |
| 演習                                | 1    | SR   | 写真・映像演習  | 8   | ●                   |               |
| 研究                                | 2    | SR   | 写真・映像研究  | 8   | ●                   |               |
| 残りの専攻共通 <del>分野特論</del> より2科目選択必修 |      |      |          | 4   | ※1:専攻共通科目は24ページより選択 |               |
| 合計                                |      |      |          | 30  | 単位                  |               |

|                                        |     |       |            |   |  |              |
|----------------------------------------|-----|-------|------------|---|--|--------------|
| オプション<br>(自由選択)<br>※別途受講料が必要(14ページ参照)。 | 1   | S(対面) | 写真・映像研究指導Ⅰ | 1 |  | 写真・映像領域のみ履修可 |
|                                        | 1 2 | S(対面) | 写真・映像研究指導Ⅱ | 1 |  | 写真・映像領域のみ履修可 |
|                                        | 1   | S(対面) | 写真・映像研究指導Ⅲ | 1 |  | 写真・映像領域のみ履修可 |

※オプション科目の単位は修了要件には含まれません。

## (6) 美術・工芸領域

| 科目群  | 配当年次 | 開講区分 | 科目名       | 単位数 | ●:必修 ○:選択必修 |    |        | 備考            |
|------|------|------|-----------|-----|-------------|----|--------|---------------|
|      |      |      |           |     | 日本画         | 洋画 | 工芸デザイン |               |
| 専攻共通 | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅰ  | 2   | ●           | ●  | ●      |               |
|      | 1    | S    | 芸術文化論特論Ⅱ  | 2   | ●           | ●  | ●      |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅰ   | 各2  | ○           | ○  | ○      | 6科目から1科目を選択必修 |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅱ   |     | ○           | ○  | ○      |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅲ   |     | ○           | ○  | ○      |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅳ   |     | ○           | ○  | ○      |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅴ   |     | ○           | ○  | ○      |               |
|      | 1    | S    | 制作行為原論Ⅵ   |     | ○           | ○  | ○      |               |
| 分野特論 | 1    | S    | 日本画特論Ⅰ    | 各2  | ●           |    |        | 日本画分野必修       |
|      | 1    | S    | 日本画特論Ⅱ    |     | ●           |    |        | 日本画分野必修       |
|      | 1    | S    | 洋画特論Ⅰ     | 各2  |             | ●  |        | 洋画分野必修        |
|      | 1    | S    | 洋画特論Ⅱ     |     |             | ●  |        | 洋画分野必修        |
|      | 1    | S    | 工芸デザイン特論Ⅰ | 各2  |             |    | ●      | 工芸デザイン分野必修    |
|      | 1    | S    | 工芸デザイン特論Ⅱ |     |             |    | ●      | 工芸デザイン分野必修    |

| 科目群                   | 配当年次 | 開講区分 | 科目名     | 単位数 | ●:必修　○:選択必修         |    |        | 備考     |
|-----------------------|------|------|---------|-----|---------------------|----|--------|--------|
|                       |      |      |         |     | 日本画                 | 洋画 | 工芸デザイン |        |
| 演習                    | 1    | SR   | 美術・工芸演習 | 8   | ●                   | ●  | ●      | 各分野で開講 |
| 研究                    | 2    | SR   | 美術・工芸研究 | 8   | ●                   | ●  | ●      | 各分野で開講 |
| 残りの専攻共通／分野特論より2科目選択必修 |      |      |         | 4   | ※1：専攻共通科目は24ページより選択 |    |        |        |
| 合計　30　単位              |      |      |         |     |                     |    |        |        |

| 科目群                                        | 配当年次 | 開講区分  | 科目名         | 単位数 | ●:必修 ○:選択必修 |    |        | 備考                    |
|--------------------------------------------|------|-------|-------------|-----|-------------|----|--------|-----------------------|
|                                            |      |       |             |     | 日本画         | 洋画 | 工芸デザイン |                       |
| オプション<br>(自由選択)<br>※別途受講料が必要<br>(14ページ参照)。 | 1    | S(対面) | 日本画研究指導Ⅰ    | 1   |             |    |        | 日本画分野のみ履修可            |
|                                            | 1    | S(対面) | 日本画研究指導Ⅱ    | 1   |             |    |        | 日本画分野のみ履修可            |
|                                            | 1    | S(対面) | 日本画研究指導Ⅲ    | 1   |             |    |        | 日本画分野のみ履修可            |
|                                            | 1    | S(対面) | 日本画研究指導Ⅳ    | 1   |             |    |        | 「日本画研究指導Ⅰ」履修済の場合のみ履修可 |
|                                            | 1    | S(対面) | 日本画研究指導Ⅴ    | 1   |             |    |        | 「日本画研究指導Ⅱ」履修済の場合のみ履修可 |
|                                            | 1    | S(対面) | 日本画研究指導Ⅵ    | 1   |             |    |        | 「日本画研究指導Ⅲ」履修済の場合のみ履修可 |
|                                            | 1    | S(対面) | 洋画研究指導Ⅰ     | 1   |             |    |        | 「洋画演習」受講者のみ履修可        |
|                                            | 1    | S(対面) | 洋画研究指導Ⅱ     | 1   |             |    |        | 「洋画演習」受講者のみ履修可        |
|                                            | 2    | S(対面) | 洋画研究指導Ⅲ     | 1   |             |    |        | 「洋画研究」受講者のみ履修可        |
|                                            | 2    | S(対面) | 洋画研究指導Ⅳ     | 1   |             |    |        | 「洋画研究」受講者のみ履修可        |
|                                            | 1    | S(対面) | 工芸デザイン研究指導Ⅰ | 1   |             |    |        | 工芸デザイン分野のみ履修可         |
|                                            | 1    | S(対面) | 工芸デザイン研究指導Ⅱ | 1   |             |    |        | 工芸デザイン分野のみ履修可         |
|                                            | 2    | S(対面) | 工芸デザイン研究指導Ⅲ | 1   |             |    |        | 「工芸デザイン研究」受講者のみ履修可    |
|                                            | 2    | S(対面) | 工芸デザイン研究指導Ⅳ | 1   |             |    |        | 「工芸デザイン研究」受講者のみ履修可    |

※オプション科目の単位は修了要件には含まれません。

## (7) 専攻共通（全領域）

| 科目群  | 配当年次 | 開講区分 | 科目名     | 単位数 |
|------|------|------|---------|-----|
| 専攻共通 | 1    | S    | 芸術原論Ⅰ   | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術原論Ⅱ   | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術原論Ⅲ   | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術原論Ⅳ   | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術原論Ⅴ   | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術原論Ⅵ   | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術環境原論Ⅰ | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術環境原論Ⅱ | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術環境原論Ⅲ | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術環境原論Ⅳ | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術環境原論Ⅴ | 2   |
|      | 1    | S    | 芸術環境原論Ⅵ | 2   |

## (8) 自由選択（全領域）※3

|            |   |    |            |    |
|------------|---|----|------------|----|
| 自由選択<br>※3 | 1 | S  | 論文研究基礎※1   | 1  |
|            | 1 | WS | 芸術史講義1～4※2 | 各2 |

※1：「論文研究基礎」は別途受講料が必要（14ページ参照）。**芸術学・文化遺産領域のみ履修可。**

※2：「芸術史講義」は日本・アジア・ヨーロッパ・近現代の4分野で各4科目（合計16科目）開講。

※3：自由選択科目は修了要件には含まれません。

## 1 学際デザイン研究領域

### 1. スクーリング

スクーリングは、すべてWeb上で開講します。各科目の開講中に動画講義の視聴、ディスカッション、レポート課題の提出、講評動画の視聴が必要です。「学際デザイン研究」は、オンラインのゼミを4、5、6、9、10、11、12月、ゼミ合宿（自由参加）を7月、中間発表会を8月、最終発表会（出席必須）を1月に実施します。詳細な日程は、入学後にお知らせします。

### 2. パソコン

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（16ページ「(2) 推奨機材」参照）。授業では、クローズドなSNS Workplace by Facebookや、Zoom（オンライン会議システム）、Microsoft PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェアを使用予定です。

### 3. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

| 科目名                         | 4月 | 5月         | 6月 | 7月                   | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月                | 2月 | 3月 |
|-----------------------------|----|------------|----|----------------------|----|----|-----|-----|-----|-------------------|----|----|
| 芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ 各2単位 <b>必</b>    |    |            |    | 動画視聴および<br>レポート提出    |    |    |     |     |     | 動画視聴および<br>レポート提出 |    |    |
| 制作行為原論Ⅰ 2単位 <b>選必</b>       |    |            |    | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |    |    |     |     |     |                   |    |    |
| 学際デザイン特論Ⅰ-1、2 各2単位 <b>必</b> |    | レポート<br>提出 |    | レポート<br>提出           |    |    |     |     |     |                   |    |    |
| 学際デザイン特論Ⅱ-1 2単位 <b>必</b>    |    | レポート<br>提出 |    |                      |    |    |     |     |     |                   |    |    |
| 学際デザイン演習Ⅰ～Ⅳ 各2単位 <b>必</b>   |    |            |    | レポート<br>提出           |    |    |     |     |     | レポート<br>提出        |    |    |

〔2年次〕履修スケジュール例

| 科目名                      | 4月  | 5月  | 6月  | 7月         | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 |
|--------------------------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 学際デザイン特論Ⅱ-2 2単位 <b>必</b> |     |     |     | レポート<br>提出 |     |     |     |     |     |     |    |    |
| 学際デザイン研究 8単位 <b>必</b>    | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 3日間        | 2日間 | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 2日間 |    |    |

**必** 必修科目 **選必** 選択必修科目

※「特論」「演習」は、グループワークへの参加が必要です。

※「研究」は、オンラインゼミへの出席やグループワークへの参加が必要です。

※「研究」のゼミは原則出席が必要ですが、欠席の場合は、ゼミアーカイブ動画を視聴のうえ、全グループの発表にコメントを入れることで、代替措置とします。

※スクーリング日程は予定です。

## 2 コミュニケーションデザイン領域

### 1. スクーリング

スクーリングは、すべてWeb上で開講します。各科目の開講中に動画講義の視聴、ディスカッション、レポート課題の提出、講評動画の視聴が必要です。「コミュニケーションデザイン研究」は、オンラインのゼミを4、5、6、10、11、12月、中間発表会を7月、最終発表会（出席必須）を1月に実施します。詳細な日程は、入学後にお知らせします。

## 2. パソコンおよび周辺機器

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（16ページ「(2) 推奨機材」参照）。

授業では、クローズドなSNS Workplace by Facebookや、Zoom（オンライン会議システム）、Microsoft PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェアを使用予定です。

「グラフィックデザイン分野」志望の方は、Adobe Illustrator & Photoshop の操作環境を推奨します。

「映像デザイン分野」志望の方は、Adobe Illustrator & Photoshop、Adobe Premiere Proの操作環境を推奨します。

「空間デザイン分野」志望の方は、Adobe Illustrator & Photoshop、3D Modeling Soft（SketchUp・Vectorworks・Fusion・Blenderなど自由）の操作環境を推奨します。

また、ご自身が使用できるデザインソフト名をすべて必ずポートフォリオに明記してください（10ページ参照）。

## 3. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

| 科目名                           | 4月 | 5月   | 6月   | 7月                 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月            | 2月 | 3月 |
|-------------------------------|----|------|------|--------------------|----|----|-----|-----|-----|---------------|----|----|
| 芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ 各2単位 <b>必</b>      |    |      |      | 動画視聴およびレポート提出      |    |    |     |     |     | 動画視聴およびレポート提出 |    |    |
| 制作行為原論Ⅴ 2単位 <b>選必</b>         |    |      |      | 課題初回提出/中間講評/最終提出   |    |    |     |     |     |               |    |    |
| コミュニケーションデザイン特論Ⅰ 2単位 <b>必</b> |    | 課題提出 |      |                    |    |    |     |     |     |               |    |    |
| コミュニケーションデザイン特論Ⅱ 2単位 <b>必</b> |    | 課題提出 |      |                    |    |    |     |     |     |               |    |    |
| コミュニケーションデザイン特論Ⅲ 2単位 <b>必</b> |    |      | 課題提出 |                    |    |    |     |     |     |               |    |    |
| コミュニケーションデザイン特論Ⅳ 2単位 <b>必</b> |    |      | 課題提出 |                    |    |    |     |     |     |               |    |    |
| コミュニケーションデザイン演習 8単位 <b>必</b>  |    |      |      | 個人ワークA1/<br>課題提出   |    |    |     |     |     |               |    |    |
|                               |    |      |      | グループワークA2/<br>課題提出 |    |    |     |     |     |               |    |    |
|                               |    |      |      | 個人ワークB1/<br>課題提出   |    |    |     |     |     |               |    |    |
|                               |    |      |      | グループワークB2/<br>課題提出 |    |    |     |     |     |               |    |    |

〔2年次〕履修スケジュール例

| 科目名                          | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| コミュニケーションデザイン研究 8単位 <b>必</b> | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 1日間 |    |    | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 1日間 |    |    |

**必** 必修科目 **選必** 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。

## 3 文芸領域

### 1. スクーリング

専攻共通科目および分野特論科目では、開講期中に講義動画の視聴、参考図書や推奨図書の講読、課題レポートまたは作品のWeb提出、リアルタイムのオンライン授業の受講（1日3～4講時程度）等が必要です。授業では全体講評やディスカッション、プレゼンテーションや個別面談等を行います。

演習科目・研究科目は一年を通じてリアルタイムのオンライン授業（1日5講時×6回）の受講と各自の制作により進めます。授業では毎回制作の経過を発表し、アドバイスを受け、グループディスカッションや教員コメントにより修了作品テーマや表現形式を探究します。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

## 2. パソコン

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（16ページ「(2) 推奨機材」参照）。授業では、Zoom（オンライン会議システム）、Word等のテキストエディタ、PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェアを使用予定です。

## 3. 所属ゼミ

出願時の指定提出物（研究計画）の内容に基づいて、領域にて所属ゼミ（小説創作／編集制作）を決定し、入学後に学習用Webサイト「airUマイページ」で所属を発表します。  
希望を最大限汲みますが、所属ゼミおよび指導担当教員は指定できません。  
本領域では開かれた創作・研究のコミュニティの醸成を目指しています。ゼミを横断しての合評会等も実施予定ですので、ぜひ活発な意見交換をしながら、自身の表現・編集力を磨いてください。

## 4. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

| 科目名                      | 4月             | 5月  | 6月 | 7月             | 8月 | 9月 | 10月            | 11月 | 12月 | 1月            | 2月 | 3月 |
|--------------------------|----------------|-----|----|----------------|----|----|----------------|-----|-----|---------------|----|----|
| 芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ 各2単位 <b>必</b> |                |     |    | 動画視聴およびレポート提出  |    |    |                |     |     | 動画視聴およびレポート提出 |    |    |
| 制作行為原論Ⅳ 2単位 <b>選必</b>    |                |     |    | 初回提出/中間講評/最終提出 |    |    |                |     |     |               |    |    |
| 文芸特論Ⅰ、Ⅱ 各2単位 <b>選必</b>   | 初回提出/中間講評/最終提出 |     |    |                |    |    | 初回提出/中間講評/最終提出 |     |     |               |    |    |
| 文芸演習 8単位 <b>必</b>        | 1日間            | 1日間 | ※1 | 1日間            |    |    | 1日間            | 1日間 | 1日間 | 1日間           |    |    |

〔2年次〕履修スケジュール例

| 科目名                   | 4月             | 5月  | 6月 | 7月             | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------------|----------------|-----|----|----------------|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 制作行為原論Ⅴ 2単位 <b>選必</b> |                |     |    | 初回提出/中間講評/最終提出 |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 文芸特論Ⅴ 2単位 <b>選必</b>   | 初回提出/中間講評/最終提出 |     |    |                |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 文芸研究 8単位 <b>必</b>     | 1日間            | 1日間 | ※1 | 1日間            |    |    | 1日間 | 1日間 | 1日間 |    |    |    |

**必** 必修科目 **選必** 選択必修科目

※1：小説創作（純文学）ゼミのみ、6月も開講。

※スクーリング日程は予定です。

※演習・研究科目では、スクーリングとは別に前期末と後期末にゼミ合評会および領域合評会を実施予定です。

## 4 芸術学・文化遺産領域

### 1. スクーリング

スクーリングはすべてWeb上で開講します。開講日時に遠隔での出席が必須です。  
演習科目・研究科目は一年を通じてリアルタイムでのオンライン授業（ゼミ）受講および研究記録、課題提出により進めます。ゼミではそれぞれの研究進捗発表やディスカッション、教員からのコメント指導などを行います。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

### 2. 自由選択科目

必修科目以外に自由選択として対面のオプション科目（有料）も設けています。

### 3. パソコン

インターネットの環境が整ったパソコンが必須です（16ページ「(2) 推奨機材」参照）。

学習用Webサイト「airUマイページ」を使用して研究の記録や課題の提出、教員からの指導を行います。また、Zoom（オンライン会議システム）を使用して遠隔でのスクーリングも行いますので、カメラ・マイク付きのパソコンを推奨します。

### 4. 所属ゼミ

本領域には、芸術学分野・文化遺産分野があり、各分野に2つのゼミがあります。出願時には希望するゼミを選択してください。指定提出物（研究計画）の内容に基づいて、領域にて所属ゼミを決定し、入学後に学習用Webサイト「airUマイページ」で所属を発表します。希望を最大限汲みますが、所属ゼミおよび指導担当教員は指定できません。

### 5. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

| 科目名             |    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月                   | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月                   | 2月 | 3月 |
|-----------------|----|-----|-----|-----|----------------------|----|----|-----|-----|-----|----------------------|----|----|
| 芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ 各2単位 | 必  |     |     |     | 動画視聴および<br>レポート提出    |    |    |     |     |     | 動画視聴および<br>レポート提出    |    |    |
| 制作行為原論Ⅰ 各2単位    | 選必 |     |     |     | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |    |    |     |     |     |                      |    |    |
| 制作行為原論Ⅱ 各2単位    | 選必 |     |     |     |                      |    |    |     |     |     | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |    |    |
| 芸術学特論Ⅰ 2単位      | 選必 |     |     |     |                      |    |    |     |     |     | 2日間                  |    |    |
| 芸術文化演習 8単位      | 必  | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 1日間                  |    |    | 1日間 | 1日間 | 1日間 |                      |    |    |

〔2年次〕履修スケジュール例

| 科目名         |    | 4月                   | 5月 | 6月  | 7月  | 8月  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------|----|----------------------|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 制作行為原論Ⅲ 2単位 | 選必 | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |    |     |     |     |    |     |     |     |    |    |    |
| 芸術学特論Ⅱ 2単位  | 選必 |                      |    |     | 2日間 |     |    |     |     |     |    |    |    |
| 芸術文化研究 8単位  | 必  | 1日間                  |    | 1日間 |     | 1日間 |    | 1日間 | 1日間 |     |    |    |    |

必 必修科目 選必 選択必修科目

※芸術学・文化遺産領域の分野特論科目は指定された日時に受講します。  
※スクーリング日程は予定です。

## 5 写真・映像領域

### 1. スクーリング

スクーリングはWeb上で開講します。

分野特論科目は開講中に動画講義の視聴、Zoom（オンライン会議システム）でのディスカッション、レポート課題のWeb提出、講評動画の視聴が必須です。

演習科目、研究科目は一年を通じてリアルタイムのオンライン授業（年間1日×演習6回、研究8回）の受講と各自の制作により進めます。授業では毎回制作の経過を発表し、アドバイスを受け、グループディスカッションや教員コメントにより修了作品テーマや表現形式を探索します。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

### 2. 自由選択科目

必修科目以外に自由選択として対面のオプション科目（有料）も設けています。



### 3. パソコン

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（16ページ「(2) 推奨機材」参照）。  
授業では、Zoom（オンライン会議システム）、Microsoft PowerPointやKeynote等のプレゼンテーションソフトウェアを使用予定です。

### 4. 履修モデル

〔1年次〕履修スケジュール例

| 科目名                      | 4月                   | 5月  | 6月 | 7月                   | 8月 | 9月 | 10月                  | 11月 | 12月 | 1月                | 2月 | 3月 |
|--------------------------|----------------------|-----|----|----------------------|----|----|----------------------|-----|-----|-------------------|----|----|
| 芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ 各2単位 <b>必</b> |                      |     |    | 動画視聴および<br>レポート提出    |    |    |                      |     |     | 動画視聴および<br>レポート提出 |    |    |
| 制作行為原論Ⅲ 2単位 <b>選必</b>    |                      |     |    |                      |    |    | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |     |     |                   |    |    |
| 芸術環境原論Ⅴ 2単位 <b>選必</b>    |                      |     |    | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |    |    |                      |     |     |                   |    |    |
| 写真・映像特論Ⅰ 2単位 <b>必</b>    | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |     |    |                      |    |    |                      |     |     |                   |    |    |
| 写真・映像演習 8単位 <b>必</b>     | 1日間                  | 1日間 |    | 1日間                  |    |    | 1日間                  | 1日間 |     | 1日間               |    |    |

〔2年次〕履修スケジュール例

| 科目名                   | 4月  | 5月  | 6月 | 7月                   | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月   | 3月 |
|-----------------------|-----|-----|----|----------------------|----|----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 写真・映像特論Ⅱ 2単位 <b>必</b> |     |     |    | 課題初回提出/中間講評/<br>最終提出 |    |    |     |     |     |     |      |    |
| 写真・映像研究 8単位 <b>必</b>  | 1日間 | 2日間 |    | 1日間                  |    |    | 2日間 | 1日間 |     | 1日間 | 課題提出 |    |

**必** 必修科目 **選必** 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。

## 6 美術・工芸領域

### 1. スクーリング

スクーリングは、すべてWeb上で開講します。各科目の開講中に動画講義の視聴、Zoom（オンライン会議システム）でのディスカッション、レポート課題のWeb提出、講評動画等の視聴が必要です。  
各分野の演習科目、研究科目は、1年を通してリアルタイムによるオンライン授業（1日5講時相当×年間8回）の受講と各自の制作で進めます。授業では毎回制作経過を発表し、学生同士のディスカッションや教員の講評により、修了制作のテーマや表現方法を探究します。詳細な内容とスケジュールは入学後に「シラバス」で確認してください。

### 2. 自由選択科目

必修科目以外に自由選択として対面のオプション科目（有料）も設けています。

### 3. パソコンおよび周辺機器

インターネットの接続環境が整ったパソコンが必須です（16ページ「(2) 推奨機材」参照）。  
授業では、学習用Webサイト「airUマイページ」や、Zoom（オンライン会議システム）を使用予定です。

〔入学時に必要なもの〕

- ・16ページに記載の「システム要件」を満たし、インターネットへの接続環境が整ったパソコン（カメラ、マイク付き推奨）
- ・カメラ（スマートフォンのカメラでも可）
- ・ヘッドセットもしくはマイク、イヤホンなど、遠隔で授業参加するための音声入出力機器

### [工芸デザイン分野のみ対象]

研究を進めるうえで用意することが望ましいもの（入学時は不要。研究の進捗の中で適宜用意）

- ・画像編集のためのソフトウェア(Adobe Creative Cloudは学生版ライセンスあり。2021年度実績で年間23,760円)
- ・セキュリティ対策ソフト(有償版)
- ・プリンター (A4～ A3サイズ) ※
- ・スキャナー (A4～ A3サイズ) ※

※プリンター機能とスキャニング機能を備えた複合機でも可

## 4. 履修モデル（日本画分野の場合）

[1年次] 履修スケジュール例

| 科目名                       | 4月 | 5月  | 6月  | 7月               | 8月  | 9月 | 10月              | 11月 | 12月 | 1月               | 2月 | 3月 |
|---------------------------|----|-----|-----|------------------|-----|----|------------------|-----|-----|------------------|----|----|
| 芸術文化論特論Ⅰ、Ⅱ 各2単位 <b>必</b>  |    |     |     | 動画視聴およびレポート提出    |     |    |                  |     |     | 動画視聴およびレポート提出    |    |    |
| 制作行為原論Ⅰ 2単位 <b>選必</b>     |    |     |     | 課題初回提出/中間講評/最終提出 |     |    |                  |     |     |                  |    |    |
| 制作行為原論Ⅱ 2単位 <b>選必</b>     |    |     |     |                  |     |    |                  |     |     | 課題初回提出/中間講評/最終提出 |    |    |
| 日本画特論Ⅰ 2単位 <b>必</b>       |    |     |     | 課題初回提出/中間講評/最終提出 |     |    |                  |     |     |                  |    |    |
| 日本画特論Ⅱ 2単位 <b>必</b>       |    |     |     |                  |     |    | 課題初回提出/中間講評/最終提出 |     |     |                  |    |    |
| 美術・工芸演習（日本画） 8単位 <b>必</b> |    | 1日間 | 1日間 | 1日間              | 1日間 |    | 1日間              | 1日間 | 1日間 | 1日間              |    |    |

[2年次] 履修スケジュール例

| 科目名                       | 4月               | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 |
|---------------------------|------------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 洋画特論Ⅰ 2単位 <b>選必</b>       | 課題初回提出/中間講評/最終提出 |     |     |     |     |    |     |     |     |     |    |    |
| 美術・工芸研究（日本画） 8単位 <b>必</b> |                  | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 1日間 |    | 1日間 | 1日間 | 1日間 | 1日間 |    |    |

**必** 必修科目 **選必** 選択必修科目

※スクーリング日程は予定です。

## 1 入学全般

### Q.1 この大学院は正規の大学院ですか？

- A. 本学の大学院芸術研究科（通信教育）は文部科学省に認可された正規の修士課程です。所定の単位を修得し、修了すれば修士（芸術）または修士（学術）の学位が授与されます。修了後、他の大学院博士後期課程への進学も可能です。学習形態が異なるだけで、研究水準や取得学位は通学課程と何ら変わりはありません。

### Q.2 本当に一切通学する必要はないのですか？

- A. 本大学院（通信教育）の必修科目では、対面授業はなくすべてオンラインで履修します。ただし、芸術学・文化遺産領域、写真・映像領域、美術・工芸領域のオプション科目と専攻共通科目「論文研究基礎」を任意で受講する場合は対面開講となり、別途受講料が必要です。

### Q.3 学位記や証明書に「通信教育」と入りますか？

- A. 学位記および証明書には本研究科の正式名称である「芸術研究科（通信教育）」と表記されます。

### Q.4 入学試験はありますか？

- A. 出願書類、志願理由・研究計画書やポートフォリオ等の指定提出物により総合的に合否を決定します。書類による選考ですので、大学にて試験を受ける必要はありません。

### Q.5 他の学校に通っていますが、入学できますか？

- A. 専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校に在籍中の方は入学できますが、大学、短期大学、高等専門学校、大学院に在籍中の方は二重学籍となるため、入学できません。なお、大学、短期大学、高等専門学校、大学院を中途退学予定の方は、退学日付が2023年4月1日以降の場合は二重学籍となるため、入学できません。

### Q.6 本学の科目等履修（学芸員課程）を受講することは可能ですか？

- A. 科目等履修（学芸員課程）は受講できません。

### Q.7 学部（通信教育部）の科目を受講することは可能ですか？

- A. 大学院と学部（通信教育部）は別課程ですので、

一部を除き学部（通信教育部）の科目を受講することはできません。大学院は学部で学んだことからさらに専門性を高め、研究・制作を行う課程として位置づけています。

### Q.8 本学通信教育部（学部）との併願はできますか？

- A. できます。ただし、どちらかにしか入学できませんので、学部への出願も検討される方は、大学院の合格発表で結果を確認した後に学部の出願手続きをすることをおすすめします。なお、学部のWeb出願手続きや出願書類の提出、入学手続き金の支払いは別途行う必要があります。また、大学院合格後に入学辞退する場合は所定の手続きが必要となり、選考料・入学金は返還できません。

### Q.9 芸術系大学出身ではないのですが、入学できますか？

- A. 同分野の学科・専攻の卒業が出願資格というわけではありません。本学の判断基準において選考を行いますので、指定提出物で現在のご自身の力を存分に見せてください。ただし、日本画・洋画分野におきましては、基礎技術は修得済みであることが必須です。

### Q.10 これまでに他の大学院で修得した単位等を認定してもらうことは可能ですか？

- A. 他の大学院で修得した単位の認定は行っておりません。

### Q.11 出願の前に、説明会等がありますか？

- A. 募集期間にあわせて、オンラインで入学説明会を開催します。説明会では、入学手続きや学び方について等、ご質問、ご相談におこたえします。具体的な開催日程は、本学通信制大学院Web サイト (<https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/>) で確認してください。

### Q.12 入学式・ガイダンスはありますか？

- A. 入学式は2023年4月9日（日）に京都瓜生山キャンパスで実施します。参加は義務づけていませんが、自身の進捗で学ぶ通信教育課程において、入学式は他の学生の皆さんや教職員と一堂に会す節目の行事です。新入生ガイダンスは領域・分野ごとに実施の有無が異なります。詳細は入学後にご案内します。

### Q.13 海外在住でも入学できますか？

- A. すべてオンラインで履修できますので海外在住でも入学可能です。ただし以下の点にご注

意ください。

- ・ 本学からのすべての送付物（郵便・宅配便等）の宛先は、日本国内の連絡先（中継先）となります。出願は日本国内での確実な連絡先（中継先）を確保できる方に限ります。出願に必要な証明書等の書類は早めに取り寄せてください。
- ・ 授業で使用するテキストや参考文献は日本の書籍となるため、Webで閲覧できるものに加え、ご自身で海外発送対応の書籍通販サイトを利用するか、代理の方に手配を依頼していただく必要が発生する可能性があります。
- ・ Zoomを使用するリアルタイム授業は日本時間での開催です。
- ・ 授業で使用する教材・画材はご自身で準備いただく必要があります。日本画の膠、岩絵具等は入手が難しい場合がありますので、入学前に入手可能かご確認ください。

## 2 学習方法

### Q.1 希望する指導教員を決めることはできますか？

- A. 各領域・分野ごとに指導教員が決まっています。事前に教員の説明を聞いてご自身の研究・制作目的と適合するか確認するためにも、教員が参加する入学説明会にぜひご参加ください。

### Q.2 授業の難易度について教えてください。

- A. 大学院で研究・制作を進めるためには、学部卒（学士の学位取得）相当の学力が必要です。出願にあたっては、説明会で説明を受けるなどして、授業内容を理解してください。

### Q.3 他領域・分野の科目を受講できますか？

- A. 「分野特論」「演習」「研究」科目は所属する領域の方のみ履修可能です。専攻共通科目では、領域を越えて興味がある科目を学ぶことができます。

### Q.4 事情により学習を続けることが難しくなった場合、休学できますか？

- A. 入学2年目以降に1年間を単位とした休学制度があります（年度途中の休学はできません）。在籍年限（4年）内に通算2年まで休学が可能です。休学期間は修業年限には含みませんが、在籍年限には含みます。休学料は1年間20,000円（2022年度実績）で、年間授業料は必要ありません。

### Q.5 いつから学習を始められますか？

- A. 学習する科目を大学に登録する必要はありませんので、4月1日以降すぐに学習を始めることができます。オプション科目のみ受講申込が必要です。

### Q.6 どんな教材がありますか？

- A. 学習用Webサイト「airUマイページ」上で閲覧できる「airU学習ガイド」、「大学院ハンドブック」、「シラバス」（授業概要）等があります。また、一部選択科目では各自購入となるテキストがあります。

### Q.7 どのように学習をすすめていくのですか？

- A. 学習方法全般の解説書であるWeb上の「airU学習ガイド」、「大学院ハンドブック」や「シラバス」（授業概要）をよく読んで、必ず履修しなければならない科目（必修科目）や興味のある科目を選び、修了までの流れを確認し、まずは1年間の計画を立てます。計画を立てたら学習を始めてください。

### Q.8 1年次の課題が終わらなければ2年次に進級できないのですか？

- A. 本学の大学院（通信教育）では2年次に進むための条件はありませんが、修了研究・制作着手要件があります。修了研究・制作着手の前年度末までに演習科目や共通科目等、指定の単位を修得することと定められています。なお、芸術学・文化遺産領域では入学選考時に個別に修了研究着手要件における追加科目を指定する場合があります。

## 3 学費

### Q.1 学費はどのように支払うのですか？

- A. 1年目は入学選考合格後の入学手続き時に、入学手続き金（入学金・授業料）を一括でお支払いいただきます（クレジットカードの種類により分割払いを利用できる場合があります）。2年目以降の授業料は1年次終了前の3月頃にクレジット決済・ネットバンキング・郵便振替・学費ローンのいずれかの方法でお支払いいただきます。

## 4 学生生活

### Q.1 大学の施設は使えますか？

- A. 芸術文化情報センター（図書館）、学生食堂、ラウンジが利用できます。また東京外苑キャンパスでは、開館時間内であればいつでも、参考図書等を閲覧できるライブラリーコーナーを利用することができます。特殊な設備

がある実習室は原則として貸出しを行っていません。

## Q.2 学割は使えますか？

- A. JRの学生割引が利用できます（運賃2割引、片道101km以上）。入学式や学位授与式、スクーリング等の学事に出席する場合に使用できます。個人的な学習や旅行、帰省等でも一定の条件の下で利用できます。その他、美術館、映画等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。

## Q.3 就職の相談はできますか？

- A. 通学部生と同様、キャリアデザインセンターが利用できます（京都瓜生山キャンパス／平日のみ）。個別相談（オンライン／対面）は要予約です。
- また、大学専用履歴書のダウンロードや求人票の閲覧、OB/OGの作成したポートフォリオの閲覧が可能です。
- なお、利用対象は新卒に相応する方（年齢は27歳までで勤務経験がない方）です。再就職や転職のあっせんは行っておりません。

## 京都瓜生山キャンパス

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

最寄のバス停留所：<sup>かみはてちょう</sup>上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前

### 交通機関

#### 1. JR京都駅

- 市バス5系統／岩倉ゆき  
[上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前] 下車  
(JR「京都駅」より約50分)

#### 2. 阪急京都河原町駅

- 市バス5系統／岩倉ゆき  
[上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前] 下車  
(阪急「京都河原町駅」より約30分)
- 市バス3系統／上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前ゆき  
[上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前] 下車  
(阪急「京都河原町駅」より約30分)

#### 3. JR京都駅から地下鉄北大路駅

北大路駅下車 (JR「京都駅」より約15分) 乗り換え

- 市バス204系統循環／高野・銀閣寺ゆき  
[上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前] 下車  
(地下鉄「北大路駅」より約15分)

#### 4. 京阪三条駅

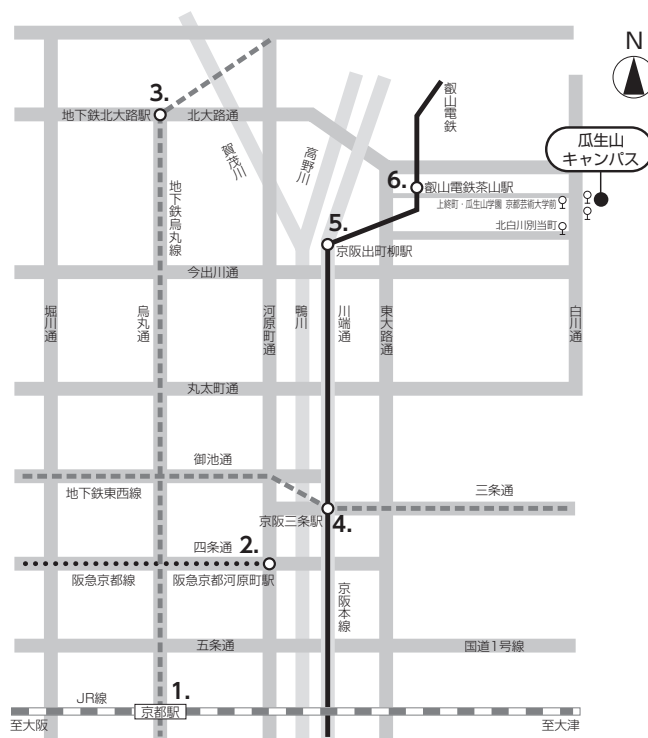
- 市バス5系統／岩倉ゆき  
[上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前] 下車  
(京阪「三条駅」より約20分)

#### 5. 京阪出町柳駅

- 市バス3系統／上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前ゆき  
[上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前] 下車  
(京阪「出町柳駅」より約15分)

#### 6. 叡山電鉄茶山駅

- 京阪「出町柳駅」で乗り換え、  
叡山電鉄「茶山駅」下車徒歩約10分



※2022年8月現在の交通機関、駅、停留所です。

※所要時間は標準時間です。天候や交通事情により変わりますので、注意してください。

※本学には駐車場がありません。自動車、バイクでの通学はできません。

### 大学院（通信教育）お問い合わせ先

#### ●出願書類を提出する前

通信教育課程入学課 ☎ 0120-20-9141

月～土／10:00～16:00 〈日祝休、12月28日～1月6日休〉

E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp URL <https://www.kyoto-art.ac.jp/tg/>

#### ●出願書類を提出した後

大学院（通信教育）願書受付係 Tel.075-791-8067

[開設期間 2023年1月23日～3月31日] 月～土／10:00～16:00 〈日祝休〉

E-mail : question@office.kyoto-art.ac.jp



速 達

郵送の場合

切 手  
貼 付

〒606-8271  
京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都芸術大学  
大学院 芸術研究科(通信教育)芸術専攻修士課程  
願書受付係 行

簡易書留速達 (2023年度出願書類在中)

|                                           |                                   |  |
|-------------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 住 所                                       | 〒 -                               |  |
| 氏 名                                       | フリガナ                              |  |
|                                           |                                   |  |
| 電 話 番 号                                   |                                   |  |
| 該当者のみ記入<br>(該当する出願<br>名称に☑印をつ<br>けてください。) | <input type="checkbox"/> 入学資格審査出願 |  |

必要な出願書類と封入確認欄

- ・ Web手続きを終えてから、書類を提出してください。
- ・ 以下の書類がそろっているか確認し、チェック欄に☑印をつけてください。
- ・ 書類がそろわない場合や受付期間外は受理できません。
- ・ 願書受付窓口は日祝休です。

| 提出書類の名称 |                         | チェック |
|---------|-------------------------|------|
| 必須      | 出願資格証明書（成績証明書および卒業証明書等） |      |
| 該当者のみ   | 氏名を確認できる公的な書類（戸籍抄本等）    |      |
|         | パスポートのコピーと在留資格証明書       |      |

※

出願期間 2023年1月23日(月)～2月21日(火) [消印有効]